

研究課題名	糖尿病が乳癌再発へのバイオロジーと予後に与える影響の検討
研究の意義・目的	糖尿病を併存していると乳癌の予後が悪いといわれていますが、その原因を調べるために本研究では再発した乳癌のバイオロジーの変化を調べて、その変化と糖尿病併存が関係しているかどうかを調べます。また、糖尿病併存乳癌患者の予後や再発後の治療内容や予後を調べて、どのような影響を与えているかを検証することで、今後の糖尿病併存乳癌患者の治療戦略を考えるための研究の一助になります。
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ~ 2030 年 3 月
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2007 年 6 月から 2022 年 12 までに当院で初期乳癌と診断されたために根治手術を施行した方が対象となります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	<p>診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。</p> <p>①患者基本情報：年齢、性別、閉経状態、BRCA 検査、身長、体重、既往歴、併存疾患およびその治療内容、喫煙歴</p> <p>②乳腺腫瘍の初診時の情報：初診時の臨床的進行度、乳腺腫瘍診断時のエストロゲン受容体・プロゲステロン受容体・HER2 受容体の発現・Ki67 スコア</p> <p>③乳腺腫瘍への治療歴：化学療法の有無とそのレジメンや施行時期・副作用、乳腺腫瘍手術の術式、放射線治療の有無とその照射部位や照射線量・施行時期・合併症、術後内分泌療法の有無とそのレジメンや施行時期・合併症、術後分子標的薬の有無とそのレジメンや施行時期・合併症</p> <p>④乳腺腫瘍の組織採取時の情報：病理学的進行度、病理学的所見、エストロゲン受容体・プロゲステロン受容体・HER2 受容体の発現・Ki67 スコア・オンコタイプ Dx 再発スコア</p> <p>⑤乳腺腫瘍診断時および以降に施行される血液検査結果：白血球絶対数、好中球絶対数、リンパ球絶対数、血小板絶対数、CRP、アルブミン値、AST 値、ALT 値、BUN 値、Cr 値、LDH 値、CK 値、FDP 値、D ダイマー、空腹時血糖値、HbA1c 値、CEA 値、CA15-3 値、NCC-ST-439 値</p> <p>⑥予後：乳腺腫瘍再発確認時期、再発部位、再発部位の病理所見（エストロゲン受容体・プロゲステロン受容体・HER2 受容体の発現・Ki67 スコア）、がん遺伝子パネル検査の所見</p>
試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	<p>この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科乳腺外科学のみで行います。</p> <p>【研究責任者】大阪公立大学大学院医学研究科・乳腺外科学 高田晃次</p>
本研究の 利益相反	<p>利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。</p> <p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
研究に協力を したくない場合	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。

連絡先	大阪公立大学医学部附属病院 乳腺外科 担当者氏名：高田 晃次 電話番号：(06) 6645-3838
------------	--